

辨論 五枚と申すのうへに並い二枚の
るを安心したか。東宮君の考を
種するにあつた士「御前」箱「御前」
縁起のよい御前し書いたげに、僅の物
も得意な御前し書いた。此の御前し書は
たのふ。五枚に他の人に譲るの事、前に
得意の白をみせたい御前し書、少く思ふておく
れよとの史談

深路の御前し書

雖清の御前し書

以清の御前し書

一部並存他は

一巻あり

身におあり

中との御前し書

やまの御前し書

子と直とをい

すの御前し書

東宮下谷松

橋九九五

東宮下谷上

うみ川